

7. 授業の詳細

【2学期】10月～

1～2時限 いろいろな人がいるよ いろいろな国があるよ

○みんななかま～いろいろな人がいるよ～（道徳）

フォトランゲージ

- ・何をしているところかな？→おまつり、パレード、パーティ、ファッションショーなど
- ・どんな子どもたち？ →最初は服装に注目していたが、肌の色・目の色・髪の色が違うことに気づいていった。「はだいろ」ってどんな色？と問いかけ、いろいろな「はだいろ」があることにも気づいた。世界にはいろいろな人たちが生活していて、それぞれの人たちの生活は、様々な面で「違い」があることを伝えた。

○～いろいろな国があるよ～（道徳）

①世界には、どんな国があるのかな？知っている国の名前を出し合う。

以下、子どもたちから出たのは・・・（一部紹介）

- ・アジア : 中国・ミャンマー・日本・モンゴル・台湾・韓国・バングラデシュ・カザフスタン・ブータン・インド・マレーシア
- ・アフリカ : ガーナ
- ・ヨーロッパ: オランダ・フランス・イタリア・スペイン
- ・オセアニア: オーストラリア
- ・南アメリカ: アルゼンチン・ブラジル
- ・北アメリカ: アメリカ



など約20カ国。（まだまだありそうだったが）私が思っていた以上に、よく知っていた。

②アジア・アフリカ・ヨーロッパ・オセアニア・南アメリカ・北アメリカ、という言葉と、世界地図を示していただいたの位置関係を知らせた。

3～4時限 みなさん こんにちは

○自己紹介タイム（学級活動）

クラスのみんなこんにちは（転入生をまじえて）

教室の中を歩いて、友だちと出会ったら「こんにちは。○○です」→握手して次へ。

○みなさん、こんにちは～世界のあいさつ～（道徳）

絵本『世界のあいさつ』を紹介しながら、世界のあいさつを知る。

インドなど「ナマステ」（手を合わせて）：子どもたちの反応は「いただきます」みたい。

5～7時限 アジアのあそび

○アジアのじゃんけんぽん（学級活動）

日本（じゃんけんぽん）、韓国・朝鮮（カウ・バイ・ボー）、中国（チン・ラオ・トウ）のじゃんけんを試してみる。

○アジアのあそび歌（音楽）

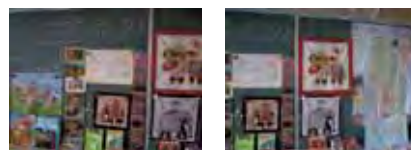
日本『おちゃらか』（手遊び）、韓国・朝鮮『モリオッケ』（踊りつき）を歌う。

『モリオッケ』では、身体という言葉（「モリ」は頭、「オッケ」は肩、など）を伝えた。

アジアの地図を見た子どもたちは、「（日本と）めっちゃ近くやー」と反応していた。

○アジアのあそび（学級活動）

ビデオ『世界の遊び・アジア編』より中国、韓国・朝鮮、ベトナム、フィリピンのあいさつや遊び（「ぐうちよきばあで何つくろう？」「ジャンケンゲーム」「色おに」「数字集めゲーム」など）を紹介した。「3」は「サン」（中国）・「サム」（韓国・朝鮮）で日本と似ていることや、遊び歌なども同じようなものがあることを知り、ジェスチャーでしてみた。



8～10時限 スリランカと出会う

○スリランカって？（道徳）

スリランカボックス（箱の中にスリランカにかんするものをいくつか入れておく）

①箱の中から1つずつ出して（地図・スパイス・紅茶・カレー・ゾウのかざり・茶摘みの絵はがき・スリランカのこまなど）、これは何でしょう？と問いかけ、紹介した。

②写真を画面で大きく見せながら、どんな人たち？子どもたち？服装は？食べ物は？自然は？まちのようすは？などの視点で説明した。

※感想→日本と変わったところがあった・カレーが多い・果物がおいしそう・ゾウがたくさんいる・裸足でサッカーしている・服がちがう・スリランカに行ってみたい、など。

この時、みんながよく見ているのは日本が真ん中の世界地図で、スリランカ中心の世界地図があることや、アメリカ中心、オーストラリア中心の世界地図があることも紹介した。

○スリランカという言葉（道徳）

あいさつ：「アーユーボーワン」（こんにちは） 「イストゥーティ」（ありがとう）

シンハラ語って？：スリランカのことば・かずの本（児童用ワークブック）より文字の紹介と、「旅の指さし会話集」より「ラサイ」（おいしい）と「サライ」（からい）などの話。

○スリランカの歌（音楽）

歌『コリガハヤタ』（『オブラディ・オブラダ』）を聴く。（スリランカで撮影したビデオ）

※シンハラ語の題『コリガハヤタ』は、「はたのもと」という意味で、わがコロomboのまちはすばらしい、ということを書いて歌っているようだ。

ビートルズのCD（英語）を聴き、日本語でも歌われていることを伝えた。日本語とシンハラ語（サビの部分）で歌い、子どもたちと一緒に、歌に合う「ミニ劇ダンス」を考えた。

11～18時限 音楽会にむけて ～世界を歌おう～

○世界へ出発！（道徳）

世界白地図に色をぬり、音楽会で出てくる曲の国の場所を知らせた。それぞれの国のあいさつや、世界の自然や文化、民族衣装（服装）などにも少しふれた。

絵本『ピーピといっしょに世界地図の絵本』『はじめてのせかいちずちょう』

『ジュニア地図帳（こども世界の旅）』より

※感想→「スリランカが小さい」「(地図上で) ヨーロッパとアルゼンチンが遠い」など。

○ヨーロッパの歌（音楽）

・イタリア『フニクリ・フニクラ』を歌う。

歌のできた背景（ナポリ近郊のベスビオ火山の登山鉄道開通を記念して作られたCMソング）を話した。「行こう行こう火の山へ」のところは、子どもたちはこぶしを上にあげながら、特にはりきって歌っていた。日本語や英語でも歌われていることを伝えた。

・ドイツ『よろこびのうた（交響曲第9番「合唱」より）』を、けんばんハーモニカで練習。

○アフリカの歌（音楽）

・ガーナ『チェッチェッコリ』を踊りながら歌う。

○オセアニアの歌（音楽）

・ニュージーランド（マオリ）『ほうこうぱればれ』を振り付けつきで歌う。

○南アメリカの歌（音楽）

・アルゼンチン『はなまつり』（スペイン語）を聴き、ケーナの音色やリズムを味わう。

歌詞の意味を説明し、スペイン語で歌った。打楽器でリズムうちもした。

○北アメリカの歌（音楽）

・ディズニー「ピノキオ」より『星に願いを』を歌う。アニメビデオを見た。（子どもが家にあつたのを持ってきた）ほかにもディズニーの曲を聴いてみた。（「美女と野獣」など）

19～21時限 こんな世界になったらいいな

○日本の歌（音楽）

『せかいじゅうの子どもたちが』を歌う。

『きみとぼくの間』(手話でうたおう)：人権参観の日、授業のはじめに手話で歌った。

○どんな世界になってほしい？（学級活動）

「星に願いを」をききながら、みんなで願いごとを考えて、音楽会のセリフにした。

- | | |
|---------------------|------------------|
| ※子どもたちから出た意見（主なもの） | ・みんな元気で何もおきないように |
| ・みんな元気に暮らせますように | ・みんな健康でよく遊べるように |
| ・みんな元気に学校へ来ますように | ・平和に暮らせますように |
| ・戦争がなくて平和な国になりますように | ・地球がこわれませんように |
| ・世界中で地震がおきないように | |

22～31時限 音楽会の練習

○音楽会の練習をしよう（音楽）

アリーナ（体育館）で、世界の歌やセリフ・ダンス・ミニ劇・世界のあいさつ（グループごとに）などの通し練習をした。



32～34時限 音楽会を楽しもう

○校内音楽会 11/22 (水)

音楽会を楽しもう～世界を歌おう～

1年生：「せかいはともだち」の発表をした。(約25分間)

4年生：ソーラン節(日本)、5年生：アフリカン

シンフォニー(アフリカ)、6年生：ボレロ(ヨーロッパ)など他学年の発表をきいた。



※感想→合奏は、日本からはなれてきているみたいでした。何だか夢をみているみたい。

「アフリカンシンフォニー」がすごかった。もう、アフリカにいるみたいでした。私は、音楽がもっと好きになりました。「ボレロ」はアルバムにしたい。自分のセリフも感動。

35～37時限 世界の今・・・

○世界がもし56人の村だったら～けやき坂小1年生バージョン～(道徳)

1, 音楽会のことを思い出す。

2, 世界地図で6大陸の位置を確認し、その中にはいろんな国があり、いろんな人がいることをおさえる。

3, 役割カードの説明(「今から56人村の1人の村人になってもらうよ」と伝える)

①大陸ごとにわかれる

※感想→アジアが一番多い。アジアは人がいっぱい入れない。オセアニアがいない。

②世界の言葉であいさつ

※感想→「ニーハオ(中国語)」が多い。「オラ(スペイン語)」はヨーロッパにも南アメリカにもいた。日本の人が1人だった。

③世界中の食べ物をわけると・・・(チョコレートを分配)

△(10人で約84%) □(36人で約15%) ○(10人で約1%)の3つグループ。

どう思う?何ができる?

→数が足りない。わけられない。少ないところと多いところがある。日本はけっこう食べ物がある。

みんなでうまく分ける方法は?

→ほんとだったら、なんで多い国から少ない国にわけられへんのかな。あそこの国が一番多いからわけてほしい。

<わかったこと・思ったことは?>

・いろんな国のあいさつをきいて、いろんなあいさつがわかったのでよかったです。

・△のところが分けてくれると言ってくれて、とってもうれしかったです。

・日本は食べ物が多いから、ほかの国に分けてあげたいと思いました。一番少ないのはアフリカとアジアで、一番多いのは日本と北アメリカとヨーロッパ。世界のことで考えたよ。

・日本はすごい多かったから、残したいぐらいありました。

・日本はちっちゃい国なのに、こんなに持つてるとは気がつかなかった。

・私はアフリカの役でした。一番食べ物が少ないとは思わなかった。

・みんなで分けたいと思いました。



- ・ほかの国はこんなに食べ物がなくて、泣きそうになったです。
- ・一番食べ物が少ない国に食べ物を分けてあげたい。
- ・日本やヨーロッパや北アメリカはおなかがいっぱいになるけど、アフリカやアジアはおなかがいっぱいにならないから、みんなで話し合いをして決めたい。

◇チョコレートという身近な具体物を「分ける」課題は、1年生の子どもたちにも富（食べ物）の不公平を実感しやすかったようだ。豊かなグループは、最初はまわりを見ようとしなかった。分け合いたいという感性を、これからも失わずに育ててほしいと願う。

○世界の人々・世界の子どもたち（道徳）

- ・世界の子どもたちの写真をみた。（「世界がもし100人の村だったら④子ども編」より）
- ・ビデオ「バングラデシュのやさしい風」より、遊び（カバディ）・服装（サリー・ルンギ：布の文化）食べ物（野菜・果物・スパイス・カレー：手で食べる）など。

38～39時限 あそびランド

○2年生の「あそびランド」へいこう（生活）

2年生が「あそびランド」に招待してくれて、2年生と遊び交流をした。

アジアの遊び（参考：「アジアの子どもの遊び」・「ちょうせんのむかしからのあそび」）

- ・日本 : 百人一首・お手玉（手づくりおもちゃ：ぶんぶんごま・かごにはいれ）
- ・韓国・朝鮮：コンギノリ・ユンノリ・チェギチャギ・ペンイ・かん馬
- ・中国 : チェンズ
- ・モンゴル : シャガイ
- ・タイ : セパタクロウ・ドゥーンカラー
- ・ベトナム : ダカウ
- ・フィリピン：バンブーダンス
- ・インド : スネーク アンド ラダー



お礼に、1年生から『モリオッケ』の歌（言葉の意味）と踊りを伝えて、一緒に歌った。

※感想→2年生のみなさんありがとう。ペンイができるようになったよ。もう教えられるよ。楽しかったよ。チェギチャギはサッカーみたいだった。カルタ（ぼうずめくり）がおもしろかった。バンブーダンスは難しかったよ。かん馬は、かんぼっくりと同じだった。

◇おみやげにもらったぶんぶんごまも、交流後、自分たちで練習し、「ぶんぶん」と音がするまで回せるようになっていた。とても楽しかったようで「スネーク アンド ラダー」なども、毎日、休み時間になると遊ぶ姿が見られた。

（2006年12月現在ここまで）

【3学期】（予定）

40～41時限 世界と出会う

○ゲストティーチャーのお話をきこう（学級活動）

- ・中南米（メキシコ・ブラジル）などで生活されていた方々の話をきいて、世界を感じる。

42～43時限 日本の昔からのあそび

○こままわし名人とであおう（生活）

・様々な世界のこまや日本のこまを紹介していただき、こままわしを体験する。

44～45時限 自分と出会おう

○わたしボックスをつくろう（道徳）＜1年間の人権学習のまとめとして＞

・何を入れる？自分の大切なものは？自分って？・・・自分に気づくきっかけとする。

参考資料 ◇2006年度 音楽会のシナリオより◇

1ねんせい げんきいっぱい うたっておどろう「せかいはともだち」

日本のまわりには、たくさんのくにがあって
うんとむかしから、とってもなかよくしてきました。
せかいには、たくさん子どもたちがくらしています。
たとえば、こんなあいさつがあります。

にほん	「こんにちは」
かんこく	「アンニョンハセヨ」
スリランカ	「アーユーポーワン」
ガーナ	「エティセイン」
イタリア	「ボンジョルノ」
ドイツ	「グーテンターク」
アルゼンチン	「ブエナスタルデス」
アメリカ	「ハロー」



これから、1ねんせいの「せかいはともだち」をはじめます。

＜アジア＞ **日本** 『おちゃらか ほい』（合唱とじゃんけん）

いまのは、日本のわらべうたでした。

せかいの子どもたちは、どんなうたをうたっているのかな。

みんなでさがしにいこう。

まずは、おとなりのくに、かんこくへしゅっぱーつ！

＜アジア＞ **韓国・朝鮮** 『モリオッケ』（合唱とダンス）

つぎは、「オブラディ・オブラダ」です。

きょうは、サビのところをスリランカのことばでうたいます。

＜アジア＞ **スリランカ** 『オブラディ・オブラダ』（合唱とミニ劇）

つぎは、アフリカへひとつとび。

さあ、みんなで、ガーナのうた「チェッ チェッ コリ」をおどろう。

<アフリカ> **ガーナ** 『**チェッ チェッ コリ**』 (合唱とダンス)

つぎは、ヨーロッパへいこう！

スパゲッティのおいしいイタリアにとうちゃく！

<ヨーロッパ> **イタリア** 『**フニクリ・フニクラ**』 (合唱)

みんな、ベートーベンってしってる？

これからがっそうするきょくは、ドイツのベートーベンのきょくです。

<ヨーロッパ> **ドイツ** 『**よろこびのうた**』 (合奏)

こんどは、みなみアメリカへひとつとび！

つぎのきょくは、アルゼンチンのおまつりのうたです。

<南アメリカ> **アルゼンチン** 『**はなまつり**』 (合唱と合奏) ※ スペイン語

アメリカといえば、ディズニーランド！

ピノキオは、にんげんになりたかったんだ！

みんなのねがいは、なにかな？

<北アメリカ> **アメリカ** 『**ほしにねがいを**』

せかいからせんそうがなくなりますように。 (合唱)

みんなげんきに、たのしく学校にきますように。

せかいの人びとがしあわせになりますように。

せかいじゅうの子どもたちが、えがおいっぱいになりますように。

みんなのねがいが、かないますように・・・

<アジア> **日本** 『**せかいじゅうの子どもたちが**』 (合唱)



8. 成果と課題

世界にはいろんな人たちがいて、もちろん子どもたちもいて、そんな世界中のみんなが笑顔になれたらいいな、そんな世界になったらいいな、という思いで、子どもたちと一緒に音楽会「せかいはともだち」をつくりあげてきた。9月の運動会が終わってからすぐに音楽会の練習をしてきたが、子どもたちはいきいきと、楽しそうに表現していた。

小学校では、給食のメニューで、アジアの料理（ナン・ナムル・トックなど）が出ることもある。そのつど紹介をして、子どもたちにとって身近な食べ物からも、世界を見つめようと試みた。また実際につくって食べるという経験ができれば、より興味関心が強くなったと思う。今後の課題としておきたい。

2年生の「あそびランド」の後、メキシコと日本のダブルの子どもが、お父さん手作りのグッズを持ってきて、「ピニャータ」というメキシコの遊びをみんなに紹介してくれたことが嬉しかった。これらの学習を通して、自分のルーツに自信を持てたのだと思う。引き続き、学校での体験が家庭でも話題となり、世界に関心が広がっていくことを期待する。

これから、子どもたちがいろいろな形で出会うであろう世界の人々・国々。この学習が1つのきっかけとなって、思いがつながり、行動が広がってほしいと願っている。